



かなみ知恵の和館
3年5か月で50万人を達成



▲くす玉と記念品で来館者50万人をお祝いしました

8月7日、かなみ知恵の和館の来館者が50万人を達成し、記念セレモニーが行われました。記念すべき50万人の達成者は、室伏喜美子さんとひ孫の華ちゃん（ともに平井在住）で、関係者とともにくす玉を割り、花束などの記念品を手渡し、来館者50万人の達成を祝いました。室伏さんは、華ちゃんのお母さんと華ちゃんと3人でよく一緒に来ているとのこと、「職員が親切で利用しやすい。おもちゃが工夫されていて安全でとても楽しい。もっと多くの人に利用してほしい」と笑顔で話してくれました。



親子で触れ合い、楽しむ
「夏休みわくわくまつり」

8月7日、かなみ知恵の和館で「夏休みわくわくまつり」が行われました。未就園児から小学生までの親子を対象に、読み聞かせやエプロンシアター、ファミリーコンサート、体験型講座などのイベントが行われ、たくさん親子連れが参加しました。三島市のママさんバンド「どんぐり'S」のコンサートでは、なじみの音楽のリズムに合わせて体を動かしたり、手遊びをしたりしながら楽しみました。体験型講座では、講師のえがしらみちこさんと一緒に動物のマグネット作りに取り組みました。



▲音楽のリズムに合わせて楽しむ参加者



第29回ショートテニストーナメント
齋藤愛里さん（柏谷）全国V



▲全国優勝を報告する齋藤愛里さん

このほど、東京で開催された第29回全国ショートテニストーナメント大会で、ワン・テニス・アカデミー（伊豆の国市）所属の齋藤愛里さん（柏谷）が5・6年生の部で優勝したことを森町長に報告しました。5・6年生の部には33人が出場。1ブロック3人～4人の予選リーグを全勝で1位通過。準決勝、決勝も圧勝し、初めて優勝しました。齋藤さんは、「小学生最後の大会で優勝できてうれしい。中学でも全国1位を目指します」と喜びと今後の抱負を話してくれました。



神社境内で美声披露
カンテムス少女合唱団



▲神社の境内で美声を響かせました

8月1日、日本をツアー中のハンガリーのカンテムス少女合唱団が函南町を訪れ、平井の天地神社境内でミニコンサートが行われました。国際大会で数多くの受賞経験のある同合唱団（14歳～20歳の団員）は、神奈川県から愛知県への移動の合間を縫って函南町に立ち寄り、町民から贈られた法被姿で「さくらさくら」などの日本語の曲など7曲を披露し、町民らは美声に酔いしれました。同合唱団の参加者は、「神社でのコンサートは、母国では決して味わえない。貴重な体験となった」と感想を話してくれました。



函中陸上部員・柔道部員・野球部
東海・全国での飛躍を誓う

8月3日、函南中学校の陸上部員・柔道部員・野球部が東海大会・全国大会に出場することを森町長に報告しました。陸上部からは菅田ももさん（2年生）が共通1,500m走で県5位で東海大会・全国大会へ、岩城充祐さんが2年生1,500m走で県3位で東海大会へ、岩崎陽生さんが1年生1,500m走で県5位で東海大会へ出場。柔道部からは山本遥斗さん（2年生）が男子50kg級で県3位で東海大会へ出場。野球部は県2位・東海大会2位で全国大会へ出場します。出場する選手は、「上位進出を目指して全力を尽くしたい」。などの抱負を述べました。



▲それぞれの抱負を述べる東海大会・全国大会へ出場する生徒たち



8月は道路ふれあい月間
道路愛護事業で整備



▲刈り上げた草を集める参加者

8月1日～8月31日は道路ふれあい月間です。8月5日、町内の県道や町道などの道路沿いのり面の整備が行われました。道路愛護事業は、道路美化・安全使用の気運を高め、道路愛護思想の普及を図ることを目的に毎年8月の第1金曜日に実施し、町内の建設業者や水道業者、建設コンサルタント業者、町職員など約110人が参加しました。同事業では、自分たちの背たけまで伸びた草木を草刈り機で刈ったり、道路脇に捨てられた空き缶やペットボトル、ごみを拾ったりして道路沿いの整備を行いました。